

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差				「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差							
学年	第3学年			学年	第1学年			第2学年			
年度	国語	数学	合計	年度	国語	数学	英語	国語	数学	GTEC	
令和12年度の目標				令和12年度の目標							
令和11年度の目標				令和11年度の目標							
令和10年度の目標				令和10年度の目標							
令和9年度の目標				令和9年度の目標							
令和8年度の目標	0	0	0	令和8年度の目標	0	0	0	0	0	0	
令和7年度の結果	-4	-6	-10	令和7年度の結果	-3.1	-2.2	-0.6	-3.2	-1.5	-4.4	
令和6年度の結果	-1	-3	-4	令和6年度の結果	-7.0	-0.7	-7.8	-4.0	0.2	-5.8	
令和5年度の結果	-5	-2	-7	令和5年度の結果							

年度	令和7年度	令和8年度	
内容	成果と課題	目標	目標達成に向けた取組
学校全体	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区学力調査では、1、2年とも英語が全国との差が前年より縮まっている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どの教科も都や全国の平均を下回っているが、数学の方程式など特定の領域では得点が高くなっているところもある。</li> </ul>	<p>「全国学力・学習状況調査」・「江戸川区学力調査」とも平均正答率を上げ、各教科ともそれぞれ都や全国との差を0にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「家庭学習のすすめ」を配布し、家庭での学習に積極的、効率的に取り組ませる。</li> <li>漢字コンテスト、計算コンテスト、スプリングコンテストなど授業以外にも学習に取り組ませ、学力の向上を図る。</li> </ul>
第1学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国語と英語の平均正答率が前年より全国との差が縮まった。</li> <li>英語の書くことは全国よりも平均が上回っている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国語の言葉・情報・言語文化、書くことで全国との差が大きくなっている。</li> <li>数学の関数で全国との差が大きくなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語の書くことで全国との平均の差をなくす。</li> <li>英語はすべての領域で全国の平均を超えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語では漢字の読みや書きの反復練習などを積極的に行う。また、読解力を付けるため、朝読書以外にも積極的に読ませるために図書館なども利用して、読解力をつけさせる。</li> <li>数学では計算コンテストの学習や問題集を多く解かせるなど計算力の向上を目指し、CD層の引き上げを図る。</li> <li>英語ではイングリッシュルームの活用やALTとの会話などを通して積極的に英語を話したり、聞いたりさせ、学力を向上させる。</li> <li>スプリングコンテストなどを利用し、書く力も向上させるようにする。</li> </ul>
第2学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数学の数と式の領域は全国平均を上回っている。</li> <li>国語と英語のCD層は前年より減っている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国語の言葉・情報・言語文化で全国との差が大きくなっている。</li> <li>数学の関数で全国との差が大きくなっている。</li> <li>英語はすべての領域で全国を下回っているが、特に書くことがいちばん下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の平均を全国平均と最低でも-5点以内まで上げる。できれば同じにする。</li> <li>数学の平均を全国平均よりも上回れるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語では漢字の読みや書きの反復練習などを積極的に行う。また、読解力を付けるため、朝読書以外にも積極的に読ませるために図書館なども利用して、読解力をつけさせる。</li> <li>数学では計算コンテストの学習や問題集を多く解かせるなど計算力の向上を目指し、CD層の引き上げを図る。</li> <li>英語ではイングリッシュルームの活用やALTとの会話などを通して積極的に英語を話したり、聞いたりさせ、学力を向上させる。</li> <li>スプリングコンテストなどを利用し、書く力も向上させるようにする。</li> </ul>
第3学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国語においては、思考・判断・表現の分野が比較的できている。</li> <li>数学においては、知識・技能の中でも方程式などの定まった解き方をする問題ができています。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に過去の学年より出来が悪くなっている。特に、できている生徒A層とできていない生徒D層の差が大きくなっているため、CD層の引き上げが全体をあげるために必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語、数学とも平均で都の平均との差をなくし、上回れるようにする。特に国語では書く力、数学では関数や図形の分野の力を向上させるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語については、問題から読み取る力や書く力を向上させるため、朝読書にもさらに熱心に取り組ませる。また、国語の授業以外にも作文や感想文などにも積極的に取り組ませる。</li> <li>数学については、図形や関数の分野の問題をドリルパークなども利用しながら、多く解かせるようにする。</li> </ul>